
私がジャズを聴く理由

凜子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私がジャズを聴く理由

【Nコード】

N0064J

【作者名】

凜子

【あらすじ】

ジャズ初心者である私が、ジャズとの出会いから魅力までを赤裸々に綴ります。

ジャズとの出会い

私のジャズとの出会いは、たしか小学生の低学年だったと思います。

自営業をしていた父のお得意さんに招待されて、現在は無くなつてしまった市民会館に父と妹と三人で行きました。もちろん当時はジャズはおろか音楽のジャンルなどもまったく知りませんでしたから、有名な人の演奏を聴きにいくとしか言われていなかったと思います。そして、目の前のステージ上で繰り広げられた演奏に度肝を抜かれたわけです。

「有名な人」というのが、あの渡辺貞夫さんだったというのは後から知ったのですが、私と妹が釘付けになったのはナベサダさんのサククスよりもサイドマンのピアノでした。ちょうど座っていた席が、ステージの左寄りだったこともあって、ピアノストがいちばん近かったです。学校にもありませんでしたし、ピアノという楽器に馴染みがあったからでしょう、あんなに早くピアノを弾いているのを見ることがありませんでしたからね。ピアノソロの順番になる度に、食い入るように見つめていたものです。

現在もピアノの入ったワンホーンカルテットを好んで聴くことが多いのは、このときの影響が大きいのだと思います。

ジャズを聴く理由

そういうこともあって、私の場合は幼少の頃にジャズに出会ったというよりも、最初に出会った音楽がジャズだったので。

これまでもいろんな音楽を聴いてきましたけれど、十数年の年月を経て、こうして本格的にジャズを聴き始めたというのは、いわば宿命だったのかもしれない。あるとき、この先一生聴いていける音楽は何か？ と、ふと考えたときに真っ先に浮かんできたのがジャズだったことは、自然な流れだったのでしょね。

これまでは洋楽を中心に聴いてきましたけれど、どうしても言葉の壁というを感じずにはいられませんでした。やはり歌詞を理解できないということは、その楽曲やアーティストの意図を本当に理解できていないのではないかと。そこが常に引っかかっていたのです。それならば、いつそのこと歌詞のない音楽を聴こうじゃないか！ そんな単純な発想からだったのですが、ジャズって、創作に於いてもたいへん重要な意味を持っていたのです。

ジャズと私

私の小説のアイデアは、圧倒的に運転中に音楽を聴いているとき浮かぶことが多いのです。

どうしても歌詞のある曲を聴いていると、その歌詞の中にある印象的な言葉が頭に残ってしまつて、そこからストーリーを紡ぎだしていくしかなかったのですが、ジャズを聴くようになってからは、純粹にメロディからストーリーが浮かんできて、まるで各楽器がソロを回していくように、自然とストーリーも展開していくようになっていきました。このときは、ちょうど創作について行き詰まっていた時期でもあったので、まさに目から鱗でしたね。

こんな私ですけれど、いつかはジャズ通と呼ばれるようになりたいと密かに思っていたりします。そのためには、まずは数をこなさねば！と意気込んで、週末には某外資系CDショップに入り浸っている次第です。ジャズコーナーの棚の前はずっと張り付いてる女がいれば、きっと私ですから気軽に声をかけてくださいね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0064j/>

私がジャズを聴く理由

2010年10月9日22時39分発行